フィールド（現場）からの風 697

宮田守男

物事の判断にも、多様な見方が求められる

3月・4月は出会いや別れの時でもある。札幌農学校（現在の北海道大学農学部）の基礎を築いた教頭・クラーク博士が、教え子たち一人一人に顔をのぞき込んで「どうか一枚の葉書でよいから時折消息を頼む。常に祈ることを忘れないように。ではいよいよ別れじゃ、元気で暮らせよ」と。そして「少年よ、大志を抱け」という言葉を残して北海道を去った名シーンは誰もが知る出来事だ。多くの人が長年勤めた職場などと別れを告げたに違いない。その時、告げた言葉の数々が後輩たちのこれからの励みになってほしいと願うばかりだ。

大北地域にも桜の便りが届けられている。同じ一本の「桜」の木が、朝・昼・夕・夜と時間によって同じ木とは思えぬほど花の趣に変化を生じさせる。桜の花びらに降りた朝露が朝日に照らされてキラキラして清らかで美しく見える「朝桜」。夕方に見られる「夕桜」。華やかにライトアップされた「夜桜」。桜の花が満開でも桜の淡いピンク色でほのかに明るく感じられる「花あかり」。桜が咲いて、月の明るい夜の「桜月夜」。50年以上前のアーモンドグリコというキャラメルのCMの言葉「一粒で2度おいしい」ではないが、桜の鑑賞は時間によって趣が変わる楽しみでもある。

30年以上、欠かさず映画鑑賞している「映画ドラえもん」、今年上映した「大長編ドラえもん・のび太の海底鬼岩城」を家族で観賞する。毎回楽しみする「ひみつの道具」、いつも本当にあればと思う道具が登場する。キャンプ用の大型テント中に個室に分かれる「テントアパート」。人が入れるくらい大きくなり、姿を消すことができる「カメレオンぼうし」。しきぼうをふれば、生きていないものでも動かせる「無生物しきぼう」をはじめ多くの道具の登場に映画の場面に命が吹き込まれる瞬間が本当に楽しい。

残雪に映える桜。一般に50年前後と言われる寿命だが、風景を継続する責任を意識するべきだ

映画主題歌を担当するスミカの「HONTO」に「笑ってみればいいよ　泣いてみればいいよ　適当よりちょっと　面倒をしよう」・「迷ってみればいいよ　止まってみればいいよ　一等よりちゃんと　真っ当でいよう」の歌詞が心に強く届く。アニメと言わずに、童心にかえって人生を考える時間の大切さを感じた時でもあった。

（信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上）